

創刊の辞

平成10年度より始まった甲南大学学術フロンティア推進事業の研究紀要がようやく創刊される運びとなった。

平成9年度までは理系だけを対象にしていた学術フロンティア推進事業が平成10年度より文系にも適用されることになり、甲南大学大学院人文科学研究科人間科学専攻と甲南大学カウンセリングセンターが中心となって「心の危機」に関する共同研究プロジェクトを構想し応募したところ、早速全国五大学の一つに選ばれ、始まったのが、この共同研究「現代人のメンタリティーに関する総合的研究——心の危機の臨床心理学的・現代思想的研究」である。

「心の危機」は現在、既成の人間理解を突き破る形で噴出しているように見える。しかし、突出した現象だけが「心の危機」であるのではない。元来「危機」^{クライシス}という語が由来するギリシア語の「クリネイン」は、「分ける、仕分ける」という意であり、人間が生きていくことは、判別困難な様々な要素の入り混じるカオスを「仕分け」つつ進むという意味で、そもそも絶えざる「危機」^{クライシス}の中にある。学問研究もまた、それが「批判的」^{クリティカル}であるためには、困難な「危機的」^{クライシス}な状況の内部からの「仕分け」であるのでなければならない。

本共同研究プロジェクトの申請書類に、次のような一節がある——〈現代人の「心」を理解するためには、単に臨床実践の技術的な洗練のみではなく、現在の人間が置かれている状況をグローバルに把握する努力を欠かすことができない。そのためには臨床心理学が、人間を研究対象とした長い歴史を持つ思想分野と協力することが今後ますます要請される〉——。既にこのプロジェクトの枠組みの中で、立派なカウンセリングセンターが建ち上がった。ハードは揃いつつある。問題は、状況の「危機」の内部から「仕分け」つつ研究内容の「危機」に耐えることができるかどうか、である。本研究紀要がそのような「仕分け」の端緒の一つになることを祈る。

斧谷 彌守一